

平成 27 年度 第 1 回大泉地域ケア個別会議実施報告

主催支所	参加者所属 (高齢者相談センター職員を除く)	テーマ	事例の概要
やすらぎ ミラージュ	民生委員、町会、認知症家族会、クリニック看護師、病院相談員、居宅介護支援事業者	孤立する高齢者夫婦への支援について～認知症の夫を介護する妻の世帯～	男性、要介護 4、一軒家、難聴の妻が介護をしている。夫は認知症で昼夜逆転の生活を送っている。近所付き合いはあまりない。平成 27 年、民生委員や隣人を担当しているケアマネからの連絡により、支所が何度か訪問するも、なかなか進展しない。受診はほとんどしておらず、介護サービスにもつながっていない。
ふきのとう	近隣住民、老人クラブ、民生児童委員、コンビニ、大泉郵便局、クリニック医師	1 人暮らしで物忘れが心配な高齢者が、住み慣れた自宅で生活していくために地域でどのように支えるか	独居男性。 介護保険課にたびたび「介護保険証が見つからない」と連絡があった。色々なものを失くしてしまうことに本人も不安に感じていたことから、認知症相談を受診。クリニックの受診が決まり、介護保険認定申請もしている。本人は、在宅での生活を希望している。
大泉学園	居宅介護支援事業者、クリニック相談員、在宅配食店、民生委員、自治会、大泉総合福祉事務所保護第 4 係、在宅介護支援センター生活支援員、石神井警察署生活安全課防犯係、グループホーム事業者、お泊りデイ事業者、訪問介護事業者	徘徊する 1 人暮らしの認知症高齢者を地域でどう支えるか	独居女性、要介護 5、アルツハイマー型認知症、団地住まい、生活保護、子がいる。認知症状が顕著で、徘徊してたびたび自宅に戻れなくなっていた。団地住民が発見しては自宅に連れて帰ったり、介護サービスの利用回数を増やすなどして、なんとか在宅生活を継続してきた。 最近では、昼夜大通りの車道を徘徊し、警察に保護されたりしている。
光陽苑	医師、ガス会社、民生委員、牛乳宅配センター、居宅介護支援事業者、ALSOK あんしんサポートセンター、石神警察署、練馬区地域見守り支援係	公的な支援を拒む独居高齢者の見守りを考える	独居。親族とは疎遠。 理解力の低下がみられ、公的サービスの導入を拒む。末期がんで余命いくばくもない。介護事業者や民生委員、牛乳屋、ガス屋など地域全体で見守りや安否確認を行っている。
大泉	民生委員、大泉総合福祉事務所相談係、石神井警察署生活安全課、東大泉敬老館、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業者	ご自身の意思を尊重しつつ適切な支援につなげていくために～セルフネグレクトを疑われる方への支援について～	独居男性、要介護 2、無年金、介護保険料を滞納、家族とは疎遠。 以前経営していた居酒屋に寝泊まりをしている。建物内はゴミ屋敷状態。親族より相談があり、支所が受診やサービス利用を促すもこれを拒否。 平成 26 年、熱中症で緊急搬送されてから、少しずつ掃除を始め、身なりもきれいに。 平成 27 年、病院にて認知症の診断を受けるが、生活保護・介護サービスの利用を拒否。